

団体運営費補助金調査票（表）

補助金名	赤十字奉仕団補助金
------	-----------

担当課	福祉部 社会福祉課	実施主体	成田市赤十字奉仕団
科目・事業コード	会計 款 項 目 事業 一般 03 01 01 55 - 01	R06 予算額	45 千円
新規・継続の別	継続	R05 予算額	11 千円
補助・単独の別	市単	R04 決算額	11 千円
補助の種類	団体運営費	R03 決算額	0 千円
交付開始年度	昭和 31 年度	終了予定年度	令和 8 年度

事業の目的概要	<p>赤十字における人道的活動の支援を基本として、その奉仕団としての充実強化を図るため、災害対応に係る各種事業や献血などへの支援・協力を行っている。事業の実施を通じ、赤十字活動の充実や災害時における福祉の向上が見込まれる。</p> <p>市として当該団体に補助金を交付し、赤十字活動の充実や災害時における福祉の向上を推進する。</p> <p>○成田市赤十字奉仕団規約（抄） （目的） 第3条 本団は、日本赤十字奉仕団の趣旨に基づき博愛精神の涵養と社会福祉の増進並びに災害救助に奉仕活動することを目的とする。</p>	補助対象事業	<p>○成田市赤十字奉仕団規約（抄） （事業） 第4条 本団は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。</p> <p>(1) 災害救護に関する奉仕 (2) 献血活動に関する奉仕 (3) 防災訓練に関する奉仕 (4) 社資募集に関する奉仕 (5) 医療機関に関する作業奉仕 (6) 児童福祉に関する奉仕 (7) 各種慰問に関する奉仕 (8) 公衆の保健、衛生に関する奉仕 (9) 義援金募集に関する奉仕 (10) その他社会福祉に関する奉仕</p>																					
根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田市補助金等交付規則</li> <li>成田市赤十字奉仕団補助金交付要綱</li> </ul>	補助基準等																						
留意事項	成田市補助金のほか、日本赤十字社千葉県支部成田市地区からの補助金あり。	補助率	<p>補助基本額45千円</p> <p>※令和2年度の見直し時、「繰越金の状況を勘案し、令和3年度から令和5年度は11千円」となったが、令和4年度末時点の繰越額は4千円となり、翌年度当初の事業実施にも影響が大きいことから、基本額への再見直しを行うもの</p>																					
決算内訳	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="3">令和 4 年度決算額 (単位：千円)</th> </tr> <tr> <th>収入額</th> <th>支出額</th> <th>翌年度繰越金</th> </tr> <tr> <td>675</td> <td>671</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>収入額の内 自主財源</td> <td>市補助金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>214</td> <td>11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自主財源比率</td> <td>繰越金/補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>31.7%</td> <td>36.4%</td> <td></td> </tr> </table>	令和 4 年度決算額 (単位：千円)			収入額	支出額	翌年度繰越金	675	671	4	収入額の内 自主財源	市補助金額		214	11		自主財源比率	繰越金/補助金		31.7%	36.4%		補助額	
令和 4 年度決算額 (単位：千円)																								
収入額	支出額	翌年度繰越金																						
675	671	4																						
収入額の内 自主財源	市補助金額																							
214	11																							
自主財源比率	繰越金/補助金																							
31.7%	36.4%																							

団体運営費補助金調査票（裏）

評価項目	内 容	評 価	評 価 理 由
公益性	基本構想、実施計画、個別計画など市の施策の方向性と合致しているか	はい	当該団体では、献血事業や赤十字活動を実施しており、成田市総合計画の基本目標に掲げる、「やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり」に合致する。
	市民の利益に寄与することができるか（「はい」の場合、選択式）	はい	ア. 地域での住民自治や社会福祉に著しい貢献が期待できる活動
	市民協働を推進する目的があるか	はい	防災訓練等を通じ、市民への啓発・訓練等の活動を行っている。
	事業を実施できる団体は他にないか	はい	日本赤十字社の事業であり、一貫して継続している団体は他にない。
必要性	事業の目的・視点・内容が、社会経済情勢や市民ニーズに適合しているか	はい	救護活動等を通じ、福祉の向上が見込まれる。
	市が関与する必要性があるか	はい	市が日赤千葉県支部成田市地区の事務局であり、市総合防災訓練などの市の主催行事への協力要請も多い。
	事業を実施しなかった場合に、大きなマイナスの影響があると認められるか	はい	献血事業や災害時の協力等の停滞につながる。
	類似の事業はないか	はい	日本赤十字社の事業であり、一貫して継続している団体は他にない。
適格性 (妥当性)	団体等の活動内容が、補助目的と合致しているか	はい	献血や防災にかかる事業を実施する予定であり、合致している。
	団体を支援するに当たり、補助金の交付が適切な手段であるか	はい	各種事業の経費を確保するために必要である。
	団体の会計処理や補助金の使途は適正であるか	はい	会計監査・総会での承認を経ており、その取扱いも適正であると認められる。
	団体の決算における繰越金（剰余金）が補助金の額を超えていないか	いいえ	R4年度決算：補助額11千円 繰越額4千円
	対象経費は、規則・要綱等により規定されているか	はい	成田市赤十字奉仕団補助金交付要綱により、補助対象経費を定めている。
有効性 (費用対効果)	補助金を交付することによる効果を明確に示すことができる指標等はあるか	はい	献血への参加回数及び参加人数 (R2：4回20人、R3：4回20人、R4：4回20人)
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	市の事業への協力機会も多く、自主的な事業についても公益性が高い。
	事業を継続するうえで、補助は必要不可欠であるか	はい	財源である募金が年々減少傾向にあることから、安定した財源の確保が見込めないため、安定的な運営を図るためにも、市が支援する必要がある。
	補助期間（終期）を設定しているか	はい	令和8年度を終期としている。

最終評価	拡大
評価者 所見	赤十字における人道的活動の支援を基本として、自らも災害救護や防災活動等を行い技術の習得等に取り組むとともに、市民への普及・啓発等にも寄与している公益性の高い団体であり、公益性等が認められる。また、令和2年度の補助金見直しにおいて、繰越金が多いこと、コロナで活動の予定が見通せないことから減額をした経緯があるが、令和4年度決算では活動が戻り、繰越金についても適正な範囲内であることから、補助額を減額前に戻すこととしたい。